高森高校後援会だより
南郷谷
第519号
熊本県立高森高等学校後援会広報委員会発行

「未来社会に必要なもの、それは」

学校長　飯田　裕

高森高校後援会の皆様、この一年間、本校の教育活動にご支援、ご協力を賜りまして本当にありがとうございました。また三年生の保護者の皆様におかれましては、お子様のご卒業のお祝いと更なる飛躍を心よりお祈り申し上げます。

三年生の皆さん、ご卒業本当におめでとう。皆さんの目前に広がる将来は、情報化がさらに進展することが予想されています。ですが情報化の負の側面として、知らなくてもいい、知りたくもない批判情報なども簡単に目に入る、あるいは正誤の判断のつかない情報が膨大にある、ということがあります。これらに対処するにはどうすればよいか。それは、それらに惑わされない判断力や、揺るがない自信、信念を身につけることが必要です。そのためにこの高森高校での三年間を含むこれまでの経験に学び、また今後とも学び続けようとする姿勢、意志を大切にしてください。これまでに皆さんが経験した、人に支えられたり、人を支えたりしたことは、とても貴重であり、困難に立ち向かう勇気が必要なときに、この経験がきっと背中を押してくれます。また、様々な知識を入れ思考を重ねることで、判断力は高まっていきます。これまでに得た知識に止まることなく、さらなる研鑽に励んでください。これからの新たな社会では、必要な知識・技術を見極め、より幅広い知識を習得し、現実に即して知恵を絞り、それらを応用することが今まで以上に必要とされるでしょう。ですが皆さんは、この高森高校でとても貴重な経験をたくさん積んでいます。

この高森高校での経験を大切に胸に刻んで、前を向いて未来を切り拓いていってください。将来の皆さんに幸多からんことを願っています。

後援会会長　岩﨑　伸一

いつも、後援会活動にご理解とご協力いただきましてありがとうございます。

初めに、３年生の皆さん卒業おめでとうございます。３年前の入学式、校長先生より「高校生活は、これからの土台となる大切な時期だから学習も友達づきあいも、社会に貢献する意識で取り組んでください」とお話がありました。様々な学校イベントや授業を通して、資格を取得し、さらに課外活動の部活や文化祭なども、生徒の皆さんはみんなで協力してやり遂げてくれました。また、昨年は高森高等学校創立70周年という周年行事も開催され、高森高校並びに高森町全体で盛り上げていただき本当に感謝しております。

生徒の皆さん、イギリスの著名な医学者のウイリアム・オスラーの名言にこのような言葉があります。

「25歳までに完成させよ。40歳まで研究せよ。60歳までに完成させよ。」

卒業する３年生はまだ18歳です。その一つの集大成として大学受験、専門学校受験、就職と選択しました。しかし、この高校生活の３年間という短い期間だけで、全部を判断しないようにしてください。進学しても、就職して社会人になっても学ぶことは続きます。そしてまだ18歳の皆さんは、誰もが可能性を秘めた花つぼみと一緒です。どんな花を咲かせるか、花びらでいっぱいの木にするかは皆さん次第です。長いスパンで考えて努力してください。

高校生活では３年間を通して仲のいい友達がいたことでしょう。友達と喜びも悲しみも分かち合いながら一緒に高校生活を過ごしてきたことだろうと思います。社会に出て荒波に揉まれると、この高校３年間が人生の貴重なひとときであったことに後から気付かされると誰もが思います。その意味でも先ほどのウイリアム・オスラーの名言にあったようにいつまでも学び続け努力してください。

結びに、皆さんはこの学校で学んだ精神を大切にして、進学する人、社会人になる人、それぞれに進んでください。また、高森町のことも忘れずに、つらいことがあったら高校での思い出や町のみんなのことをぜひ思い出して一歩ずつ進んでいってください。

「故郷に錦を飾る」という言葉はちょっと古いですが、高森町、高森高校の名前を高められるように行動してください。そして町を誇りに思ってください。

「人生迷ったときはフルスイング」

同窓会会長　立山　広滋

三年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

輝かしい門出を迎えた皆様に、人生の先輩として二言、言葉を送りたいと思います。

ある書の中に「狭き門より入れ、滅びに至る門は大きく、その道は広く、これに入るものは多し。生命に至る門は狭く、その道は狭く、これを見出すものは少ない。」という一説があります。

これはどういう意味か。自分自身で考えてみると、「易しい道ばかり歩き慣れていると、やがて社会に出たとき険しい道を歩けなくなる。悪いことをして得をしたと思うようになる。広い門ばかり入り慣れていると、狭い門から入れなくなる。どちらを選ぶべきか迷ったときは、難しい方を選びなさい。」そして、フルスイングをしなさい。」ということではなかろうか。常に私自身このことを思って生活をしています。

これからの人生、色々な荒波が待ち受けています。苦境に立った時は、この言葉を思い出して行動し、立ち向かって行ってください。必ずや道は開けるでしょう。

最後になりましたが、皆さんを今日まで育てていただいた家族の皆様、三年間指導していただいた諸先生方、そして、温かく迎えてくれた地域の皆様等にも感謝しながら高森高校を巣立って頂きたいと思います。再度、ご卒業本当におめでとうございます。

３年１組担任　西喜　恵

卒業おめでとうございます。

長い長いと思った３年間も、いつのまにか名残惜しい３年間になったのではないでしょうか。２年間担任をさせてもらい本当に幸せでした。生まれて初めての胴上げも忘れることができません。「サイキーランド」やクラスTシャツを作ったこと、春休みのBBQ、たくさんの楽しい思い出が蘇ってきます。以前読んだ本に『人生は要約できないんだよ』取るに足らない日の暮らしや日常、要約して消えた日々の出来事にこそ人生」という文があり、とても心に残りました。何か出来事があって記憶に残っている日も大切ですが、何があったかも思い出せないような毎日が自分の大切な人生なんだと思います。クラスでの穏やかな（？）毎日が、この先ほほえましい記憶として思いされるでしょう。その時にそばにいた友達、先生方の顔がみんなの支えになるかもしれません。

これからもつながっていて欲しい仲間たち。新たな出会いも待っていますが、今までの出会いも大切にして前進してください。

３年２組担任　金子　剛

三年生のみなさん、卒業おめでとうございます。無事に卒業式を迎え、大変喜ばしくもあり、これから会う機会がぐっと減ってしまうかと思うと少し寂しくもあります。

みんなが二年生になった時に高森高校に赴任して、それからの二年間をともに過ごしてきました。教員人生初の担任をさせてもらった二年二組、そして持ち上がりで三年二組でも担任ができました。なにしろ初めてのことだらけであたふたしてばかりでしたが、クラスのみんなが気配りができて思いやりのある「大人」だったことに助けられました。高森高校の中で一番人数の少ないクラスで落ち着いている印象が強めでしたが、すべきことはパシッと決める思いきりのよさもあり、クラス独自のカラーが出ていたと思います。私にとって絶対に忘れることのできない素晴らしいクラスです。

卒業後は、就職・進学とさまざまな道を歩んでいくなかで、苦労することも挫けそうになることもあると思います。そんな時は、高森高校での学び、一緒に過ごした仲間の力を糧に頑張ってほしいと思います。そして、時には先生たちのことも思い出してくれると嬉しいです。

みんなが歩む旅路に、幸多からんことを。

体育祭

『みんなに、元気と勇気を』

体育委員長　二年二組　原　彩莉

今年度の体育祭のスローガンは『一笑懸命～努力と笑顔の結晶～』でした。今年は例年よりも練習期間が短く、雨天の日も多くありました。その中で、各学年が室内でできることを考え、効率的に練習を行いました。また、それぞれが違う部活動に所属していますが、放課後も時間を決めて練習を行っている仲間たちの姿を見ることができ、生徒一人一人が体育祭にかける思いを強く感じました。

二年生は、団体競技の練習に力を入れました。特にリレーでは、バトンパスの練習を何度も行うことで、当日は誰一人ミスすることなく、一位を取ることができました。

また、毎年恒例の学年対抗マスゲームでは、三年生が男女ともに圧巻の演技で一位でした。集団行動では、三年生らしく面白い内容も取り入れつつ、揃えるところはしっかりと息を合わせていて、すごく迫力がありました。ダンスではかわいらしく、かっこいい女子のダンスと男子生徒の応援ダンスのコラボレーションでとても盛り上がり、三年生の団結した絆を感じることができました。

雨天のため、月曜開催となりましたが、今年もたくさんの地域の方々に来ていただき、私たちの頑張る姿を見ていただけたと思います。私たちの姿で、少しでもたくさんの方々に元気と勇気を与えることができていればいいなと思います。今年度の体育祭も、各学年が一致団結し、素晴らしいものになりました。来年度も今年を超えるような体育祭を作り上げます。

文化祭

『つながりを感じた文化祭』

生徒会副会長・文化委員長
二年二組　野尻　駿

今年度の文化祭スローガンは、翌週に控えていた高森高校創立七十周年記念式典のスローガンと合わせて、「輝く未来　可能性への挑戦～Link　つながりを求めて～」でした。

第Ⅰ部では、委員会発表や一・二年生によるグローカルの中間活動報告など半年間の学習のまとめを発表しました。また、一・二年生による合唱や吹奏楽部による演奏などがあり、中でも二年生の創作劇では一人一人の個性が輝くものとなっていました。第Ⅱ部では、三年生と後援会役員の方々による食品バザーや一年生の教室でのイベントを楽しむことができました。生徒会主催のカラオケ大会も例年に比べ、参加者が増えており、会場を沸かせてくれました。第Ⅲ部では、ヲタ芸や流行曲のメドレーダンス、先生方によるバンドなど有志発表は、生徒や先生方だけでなく地域の方にも楽しんでいただき、一体感が感じられ、スローガンである「つながり」を強く持てたと思います。

来年もより一層、地域の方とのつながりをもてるような文化祭にしていきたいです。

チャレンジ大会

★男子★

順位	クラス	氏名	タイム
1	3-2	渡辺　朔成	1:52:52
2	2-2	廣田　侑斗	1:56:09
3	2-2	飛瀬　瑛貴	1:56:11

★女子★

順位	クラス	氏名	タイム
1	1-2	佐藤　奈奈	2:28:32
2	1-1	工藤　愛佳	2:28:40
3	2-2	原　彩莉	2:35:46

『最後のチャレンジ大会』

男子１位　3年2組　渡辺朔成

今年で3回目のチャレンジ大会でした。3回目なので、コースはよく知っているつもりだったので少しは楽だろうと思っていました。しかし、例年通りとてもきつかったです。昨年のタイムより4分遅い結果となってしまいましたが、見事1位になることができました。部活動を引退してから約6ヶ月経っていたので、現役の時より体力が衰えており、1位になれるとは思っていなかったため、1位になった時はとても嬉しかったです。今回の結果で、体力の落ちた3年生でも1位になれるということが分かったと思うので来年の3年生にもぜひ1位を目指してほしいです。

今年の炊き出しは例年通り、おにぎりと豚汁でした。走り終わった後の炊き出しは、酷使した体に染みわたってとてもおいしかったです。また、炊き出しを食べながら生徒同士で話すので、より一層絆を深められたと思います。

毎年恒例のチャレンジ大会ですが、文句を言ったり、やる気を出さなかったりしましたが、3年間走り切った今では、いい学校行事だったと思います。これからも後輩たちには頑張ってほしいです。

『初めてのチャレンジ大会』

女子１位　1年2組　佐藤奈奈

道路を長く走ることは今までの経験上なくて、初めてでした。学校の練習ではグラウンドをよく走っていたので、いざアスファルトを走ると考えると、気が遠くなりました。

チャレンジ大会当日、先輩についていこうと思い、ものすごくはりきっていました。26キロを走る想像が全くついていなかったので、どのくらいのペースで走れば良いのかわからなくて、最初はグループで走りました。遠くを見ると、気が遠く感じたので、ひたすら前だけを見ていました。速くなっても遅くなってもいけないので、一定のペースで行くことだけを意識しました。折り返し地点では、信号などでよく止まり、後ろを走る人たちが迫ってくることに、とてもひやひやしました。また、走っていると、地域の方々にも「頑張れ」と応援していただいてすごく頑張れました。途中、急に足が痛くなったこともあったけど、なにより26キロを完走することができて、とても嬉しかったです。

また、ゴールした後には、保護者の方々が作ったおにぎりと豚汁などが用意されており、すごく美味しかったです。走りきった後も、みんな応援していて、先輩も後輩も仲が良く、素晴らしい学校だと思いました。こんなに気持ちよく走れたのも、たくさんの人たちのおかげなので、走れた事に感謝したいです。

修学旅行

二年　白石和馬

私は今回の修学旅行を通してこれまで以上の絆を深められたと思います。特に二日目と三日目の班別行動では、班長を務めて慣れない東京の街中を班員と協力して目的地に無事にたどり着くことができました。また班員以外の人達とも四日目の浅草の自由散策で仲良く回りました。おそらくこれだけ同年代の人達と旅行をすることは最後で一生の思い出に残る最高の旅にすることができました。

二年　荒牧真央

高校生活で一番の行事といっても過言でない修学旅行はあっという間に過ぎてしまいました。四日間で私が感じたことは、日本のグローバル化です。ホテルでは日本人よりも圧倒的に外国人の数が多かったです。グローバル化を肌で感じたからこそ、これから先、グローバル化する社会の中で自分がどのような役割を果たせばよいのかを見極め、今回の体験をただ楽しかった思い出として片づけるのではなく、自分の将来に役立てたいです。

一年　桐原義人

私が一番思い出に残っていることは、ディズニーランドに行ったことです。まず、たくさんの外国の方を見かけました。スカイツリーなどの観光地でも多くの外国人を見かけました。熊本よりも東京の方が外国の方と接する機会が多いと感じました。また、友人とたくさん話をしながらアトラクションに乗ったり、食事をしたりして、楽しみを分かち合うことができました。

たくさんの経験を積み、四日間の充実した修学旅行となりました。

一年　吉田匠登

私の思い出は、二日目の研修で読売新聞社を訪れたことです。日ごろ読んでいる新聞が、私たちのもとに届く過程を、体験活動で学びました。同じ階に異なる部署が配置されていても、部署間に壁はなく、一～三階フロアの中心は吹き抜けとなっていて、新たな情報をすぐに他の部署に伝えやすくしてありました。会議テーブルは、社員が迅速に動ける等の様々な工夫があり、新聞作成には素早い情報処理が必要だと感じました。今までとは違った視点も加えて新聞やニュースを見ていきます。

70周年記念式典

平成三十年十月二十六日（金）、七十周年記念式典が挙行されました。

吹奏楽部の演奏に始まり、式辞・祝辞・ごあいさつにより、南阿蘇地域の本校への期待を改めて感じました。生徒代表の飛瀬君（生徒会会長）は、地域の方々への感謝の気持ちと、地域のリーダーとして精進するという誓いを述べました。最後に、生徒・職員だけでなくご臨席いただいた歴代の校長先生、来賓の皆さま、同窓生・後援会の皆様と一緒に校歌を斉唱し、式典は幕を閉じました。

式典終了後、村上美香様（㈱ヒトコト社代表）の記念講演「いのちを尊重する生き方とは？」が行われ、昼食と公開授業をはさみ、劇団天然木様の『ビー子は飛んでいった』を鑑賞しました。

式典が成功裏に終えましたことに、同窓会・後援会・地域の皆様のご支援・ご協力に感謝申し上げますとともに、記念事業の統一テーマ「輝く未来 可能性への挑戦」を根底に、八十周年に向けて新たな一歩を踏みだした高森高校を、これからもよろしくお願いします。

活力ある後援会組織づくりを目指して

次期後援会会長　工藤　智宏

本年４月より高森高校の後援会会長を務めさせて頂く事になりました工藤です。至らない点も多々あると思いますが、先生方をはじめ、皆様のご支援を頂きながら精一杯務めたいと思いますのでどうぞ宜しくお願い致します。

高森高校は昨年、創立70周年という一つの節目を迎え、記念行事も滞りなく終える事ができ、新たな未来への第一歩を踏み出しました。ICTを活用した「未来の学校」創造プロジェクト推進事業、スーパーグローカル・ハイスクール事業の指定校にも選ばれた素晴らしい環境の中で、生徒一人ひとりが自分の持つ能力を見いだし、「高森高校でよかった」と、後悔のない充実した学校生活が送れるよう、後援会としてもしっかりとバックアップしていきたいと思います。

後援会活動は保護者の皆様のご協力なくしては成り立ちません。これまで取り組んできた活動を大切にし、皆様のご意見を取り入れながら、さらに活力ある後援会組織づくりを目指していきたいと思います。私自身も皆様との繋がりを大切にし、しっかりと後援会活動に取り組んでまいります。

今後も引き続き会員の皆様の積極的なご参加とご協力を宜しくお願い致します。

次期後援会役員紹介

会長	工藤　智宏
副会長	井芹　太一
会計	福本　早苗
監査	平盛美恵子

第二回後援会総会

平成三十年十一月九日（金）に本校多目的ホールで第二回後援会総会が開催されました。会則改正では、「役員は、執行部と各学年委員及び広報委員で組織する。」が承認されました。また、後援会所有のマイクロバスについては、老朽化に伴い修繕費等が増加していることや将来的にバス更新の必要性があることから、後援会費に「マイクロバス積立金として月額二百円を追加して徴収し積み立てを行うこと。」も併せて承認されました。よって、次年度より後援会費を毎月四千円から四千二百円に変更させていただきますのでよろしく願いいたします。

～輝ける高森高校この一年間の軌跡～

- **陸上競技部**　阿蘇・菊鹿地区高等学校総合体育大会男子3年４００M　第1位　下田匠平
  第４６回熊本県高等学校学年別陸上競技大会男子1年砲丸投げ　第3位　興梠大夢
  第４６回熊本県高等学校学年別陸上競技大会男子2年砲丸投げ　第2位　興梠将典
- **テニス部**　熊本県高等学校冬季ダブルステニス選手権大会女子Cクラス　優勝　工藤愛佳・佐藤奈奈
- **吹奏楽部**　第６２回熊本県吹奏楽コンクール高校Bパート　金賞・最優秀賞
  第１４回南九州小編成吹奏楽コンテスト鹿児島大会高等学校の部　金賞
  第２２回熊本県高等学校文化連盟吹奏楽専門部新人コンクール吹奏楽部門　金賞
  （第３１回熊本県高等学校総合文化祭出場権獲得）
- **理科部**　第68回熊本県高等学校生徒理科研究発表会化学部門　最優秀賞
  （第43回全国高等学校総合文化祭出場権獲得）
- **グローカル・プロデュース**
  第9回熊本県高等学校生徒地歴・公民科研究発表　最優秀賞
  「謎多き弥生時代の巨大遺跡の解明」　三舩鷹人・太田黒竜之介・白石和馬・野尻駿
  平成30年度くまもとICTコンテストICT活用部門　優秀賞　「Youは何しに高森へ？」
  グローカル・プロデュース観光局観光課　藤河暉・後藤叶輔・三森康太郎・谷口朋杜
- **その他の活動**　第15回公徳文芸賞肥後狂句の部　最優秀賞　工藤奈々
  平成30年度第64回青少年読書感想文全国コンクール熊本県審査　優秀賞　野尻駿

平成３０年度 3年生進路状況

進　学　17名

熊本大学 法学部
長崎大学 教育学部
宮崎大学 農学部
熊本県立大学 総合管理学部
熊本県立大学 環境共生学部
東海大学 経営学部
別府大学 文学部
尚絅大学短期大学部
佐賀女子短期大学
上天草看護専門学校
熊本県立技術短期大学校
熊本デザイン専門学校
西日本教育医療専門学校
熊本工業専門学校
福岡こども専門学校

就　職　13名

熊本県警
自衛官候補生
日本郵便　九州支社
青山製作所
古今堂
ジェイデバイス
高森ゴルフ倶楽部
阿部牧場
あか牛の館

全国高等学校PTA連合会

『佐賀大会に出席して』

甲斐　哲郎

昨年八月二十日より二日間の日程でPTA連合会佐賀大会に、役員三名で参加しました。

全国大会でもあり、佐賀県内あげて観光と県産品PRを随所に感じられました。

大会で印象に残ったのは、レモンさんこと山本シュウ氏の講演で、DJで子供達の相談を受けながら様々な活動をし、小学校のPTA会長を五年間された本人の大阪弁のトークで、最後は会場が笑いながら聞き入ってしまうほどの話でした。他の講演、分科会も通してPTA役員として親の成長、子供の健全な育成を考えさせられるものでした。

講演の合間で高校生の演奏、舞踏は明るく精一杯の演技で心に響くものでした。

二日間、有意義に過ごすことができ、感謝いたします。

ICT公開授業

十二月十九日（水）、『ICTを活用した「未来の学校」創造プロジェクト』の公開授業が行われました。物理基礎の授業では人吉高校のスーパーティーチャーとのティームティーチングを遠隔授業で行い、保健の授業では、協同学習支援ソフトを使って、交通安全危険予測シミュレーションを行いました。その他、電子黒板やタブレット端末を活用し、様々な授業が行われました。今後もICTを活用し授業改善を推進していきます。

それぞれの未来にむけて

南阿蘇鉄道

ただいま CMなりきり 体験中。

卒業列車

H31.2.13

編集後記

広報委員長　平盛　美恵子

高森高校後援会だよりをお読みいただきありがとうございます。

あっという間の1年でした。体育祭や、文化祭など多くの年間行事に加え、本年度は70周年記念式典があり編集内容も大変濃いものとなりました。意欲旺盛な広報委員のメンバーと金子先生をはじめ多くの先生方のご協力により和気藹々と編集が整いましたことを心から嬉しく思います。

又、3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます！

卒業生の皆さん、そして高森高校の更なる飛躍を祈念して編集後記とさせていただきます。

一年間ご協力頂きありがとうございました。

平成三十年度
広報委員会
阿南　律子
森山　由美
今村　真理
後藤　正恵
平盛美恵子
山村　玲子
古閑　智子
谷口　珠未
渡邉千代子
木山　亜紀
佐藤　由美
後藤真由美

〒869-1602 熊本県阿蘇郡高森町高森1557番地
TEL 0967-62-0185
ホームページ　http://sh.higo.ed.jp/takamorish/
フェイスブック https://www.facebook.com/takamori.h